

「はじめて」ばかりだった…… 俺の現場紹介

現場には、それぞれ特徴があるもの。中堅やベテラン社員であっても、はじめての経験をすることがあります。今回は鉄筋工の班長を務める金城さんに、少し珍しい工事の体験談を伺いました！はたして、どんな大変さがあったのでしょうか？



現場の特徴

基礎に使う鉄筋のカゴを2重で製作

3～4年前、広島県で橋桁をつくるための基礎工事を行いました。橋の長さは30～40m。車も通る大きな橋です。通常は鉄筋で丸いカゴをつくり、そこに生コンを打つのですが、こちらの現場ではカゴの中にさらに小さなカゴをつくることになりました。特殊なケースだったため、東京から別の業者が来てフープ筋を溶接し、私たちがあとから加工を行ったかたちです。



工夫したこと

カゴが2重のため、生コン打ちの作業に大苦戦！

従来はフープ筋を締め、あとから自分たちで溶接を行っているのですが、今回は最初から溶接された状態だったため作業が大変でした。私たちはキャンバーを増やすことで対応できたのですが、施工班はもっと大変だったと思います。まず必要な鉄筋の長さが約30m。普段扱っている鉄筋は長くても12mしかないため、施工班が現場でつないでいきました。そのあとに生コンを打つのですが、カゴが1つであれば簡単です。しかし今回は丸いカゴが2重になっているため、手が届かないような場所にも生コンを打つ必要がありました。このときの作業日数は1か月ほど。大変なことも多くありましたが、みんなの頑張りもあり、通常とそれほど変わらない期間で作業を終えることができました。こういった現場は非常に珍しく、苦労した経験が活かせるような現場は、いまだにありません。しかし、もう一度同じような現場があれば、前回よりもスムーズに進められると思います。



工事基本情報

元 請 (株)福永建設工業
工 事 名 県道広島海田線 新大洲橋
架替工事 (その2)
工 期 令和3年3月～5月
場 所 広島市南区大洲

安全管理のために意識したこと

3・3・3運動と指差し呼称を徹底

玉掛け時の3・3・3運動をしっかりと行いました。こちらは鉄筋だけでなく、建設業全体で基本となっている取り組みのこと。玉掛け時に吊り荷から3m離れる、巻き上げる際は30cm以内で一度止める、3秒以上待つ。こういった3項目を確認したあとに、実際の巻き上げを行います。また、玉掛け時には指差し呼称も重要。私たちの場合は、現場に入ってきた鉄筋を荷下ろしするときや、製作したカゴをトラックに積むときなどに使います。こちらも3・3・3運動と同じく、作業時は必ずしなくてはならない基本事

項です。昔の現場では、確認を疎かにしたため積み荷が人に当たりそうになるなど、危険な場面を何度も目にしてきました。吊り荷は鉄筋など重たいものが多く、人に当たると大怪我にもつながりかねません。だからこそ、私たち河野組の従業員は常に安全確認を徹底しているのです。

社内唯一の営業担当である北村さんの仕事ぶりをご紹介。門前払いも日常茶飯事だという厳しい状況の中で、日々奮闘する北村さんの1日に密着です!

営業部 大阪営業所 所長
北村 倫哉さん



大阪で奮闘する北村さんの1日

河野組の営業を担う!

北村さんの1日の過ごし方

6:30 起床

朝食を摂り、簡単に家事を済ませ、7時半ごろに家を出ます。

13:00 客先へ顔出し

午後一番はお客様の元へ。「会えたらラッキー」の精神で、アポを取れていなくてもなるべく多く顔を出すことを心掛けています。多い日は1日4~5件訪問。場所によっては直帰、もしくは事務所に帰社し簡単な事務処理をしてから帰宅します。

18:00~19:00 帰宅

帰宅後は夕食を摂り、お風呂に入ったり片付けをしたりしながらゆっくりと過ごします。0時~1時ごろに就寝。



8:00 出社

客先に直接行く日もありますが、事務所向かう日は8時ごろには出社します。事務所ではメールチェックや客先の情報収集、そのほか事務処理などを行います。

12:00~13:00 昼休憩

昼休憩は11時半~14時あたりで、その日のスケジュールにより変動。客先への訪問は先方の昼休憩を考慮し、遅くとも11時45分までには向かうようにしています。13時15分までは休憩中と想定し、その間に自身の昼食、移動を済ませます。昼食はその地のご当地グルメを堪能することもあれば、コンビニエンスストアのパンをかじりながらひたすら移動することも。

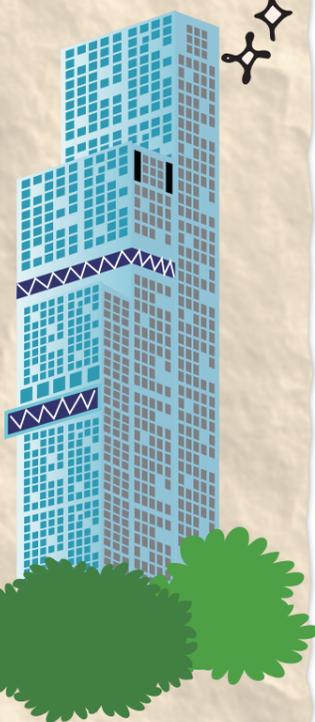
Q. 大変だと感じることの乗り越え方を教えてください

A. 入念な下調べで受注に繋がる会話に発展させること

新規営業のため、苦労は多くあります。門前払いも日常茶飯事。事前にアポを取っていても、いざ訪問すると「もう決まっているから」と、見積もりすら取らせてもらえないということも何回もありました。その度に落ち込みながら、それでも気力を奮い立たせて次に向けて頑張るといった流れの繰り返しです。話が来た段階では「すでに何回か顔を出している」という状態を作っておくのが私のポリシー。電話では断られても、実際に行くときと会っていただけることもあるため、ストレスを抱えながらも頑張って訪問を重ねます。

また、訪問前に必ず行っているのは、事前の下調べ。その会社の得意分野、工事情報、入札実績などを調べ、訪問時に「この分野が得意ですね? 当社もこのような工事を行っています」「以前この工事をしていましたよね? こうした苦労がありませんでしたか?」といった会話ができるように、準備を整えています。

もちろん工事を取れたときが最も嬉しい瞬間ですが、新規営業ではなかなか条件が厳しいというのが現実。そのような中でも最後まで残り、「そちらを使いたいからもう少し安くできないか」というような話ができる関係に発展したときに、やりがいを感じます。



Q. 仕事をする上でのこだわりを教えてください

A. お客様の紹介グルメを味わい、次の会話に繋げること

私は昔から美味しいものを食べることが大好き。かなり広域を回っているため、昼食時はその土地ごとの名物を食べるようにしています。そして、店選びにはお客様からのおすすめをチョイスするのが私のこだわりです。お客様から美味しい店を教えていただき、すぐに訪問。後日その店の感想を伝えられれば、コミュニケーションの幅も広がります。たかが食事されど食事。行ったからにはなるべく話のネタになるようにと思っています。



Q. 大阪の好きなところ

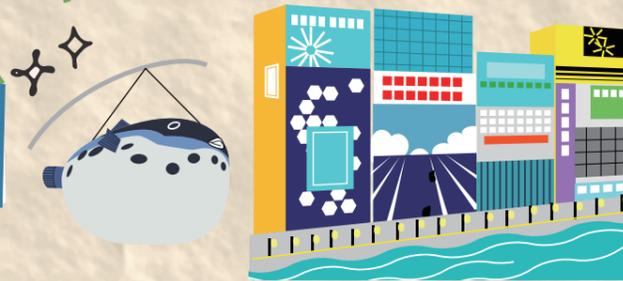
やはり食べ物が美味しいところでしょうか(笑)「春駒」という居酒屋で食べるお寿司が美味しく、休みの日など何回か食べに行っています。



Q. 現場の皆さんに伝えたい、最近一番の成果は?

A. 話が広がった1件の工事

2023年11月~今年1月まで奈良で行っていた工事が印象に残っています。現場に通ううちに隣で行っていた別工事の所長と親しい仲になり、「北村くん次よろしくね」と言ってもらえるまでになりました。もちろん現場作業員の方々の頑張りあってこそその話ですが、役所からの評価も高く、1件の工事が次へと広がった印象深い工事となりました。



俺の出張飯

うめはら ゆうさく
梅原 祐作さん



ビジネス旅館の週末メニュー「カレーライス」

出張先ではあまり外食をせず、いつもと変わらないもので昼食を済ませてしまうのですが、先日出張で広島に行ったときには、旅館で出されていたカレーライスが美味しくて、印象に残っています。

いわゆるビジネス旅館なのですが、和食中心のメニューで、毎日手作りの夜ご飯を出していただけです。週末はいつもカレーライスなので、楽しみにしていました。特別な材料などが使われているわけではない、普通の手作りカレーなのですが、たっぷりいただいて仕事の活力をチャージできる出張飯です。

